

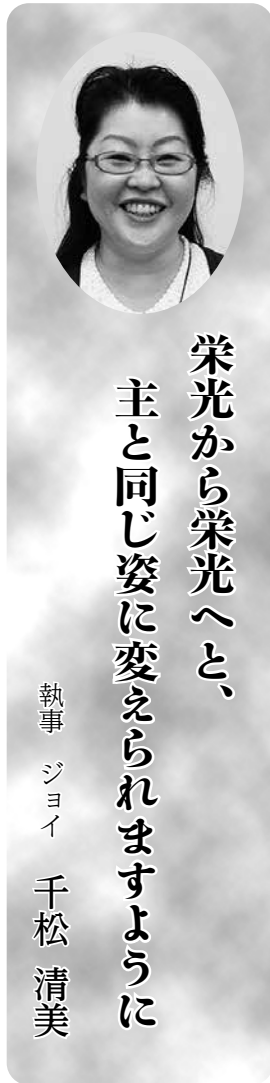


日本聖公会
大阪教区教務局
〒545-0053
大阪市阿倍野区
松崎町2-1-8
TEL 06-6621-2179
FAX 06-6621-3097
発行責任者
教務局長 司祭 原田光雄

〈HP〉 <http://www.nskk.org/osaka/index.htm> 〈e-mail〉 office.osaka@nsk.org

第430号 2013年4月7日発行

「栄光から栄光へと、主と同じ姿に変えられますように」これは大齋節前主日の特禱の最後の言葉です。この主日の福音書で、主イエス様の山上での変容の箇所が読まれることからこのように祈ります。栄光に輝く主イエス様を目の当たりにして、弟子たちは驚き恐れしました。そして、「これはわたしの子、選ばれ



栄光から栄光へと、
主と同じ姿に変えられますように

執事 ジョイ 千松 清美

み子である主イエス様をキリストとして理解し、信じる者にされました。信じる者にされる前の弟子たちは、栄光に輝く主イエス様と同じ姿に変えられるようにと願う者とは到底思われないほど、人々の迫害を恐れ、自分たちの身の安全だけを思い、主イエス様を見捨て、鍵をかけた家に集まって人々から隠れていまし

だ中にいる主イエス様が現実であることを示されました。主イエス様の復活は弟子たちにとって、食事をするようにとても日常的な状況の中で、そして神様からの平和に満ちた中で実現することでした。そして、復活した主イエス様はそのままのお姿で天へと帰って行かれました。弟子たちがこのすべての出来事を

た者。これに聞け」という神様のみ声が示されたとおり、弟子たちは戸惑いわからないながらも、主イエス様に聞く者として、主イエス様がエルサレムへ向かっていく道をもに従っていきました。そして、弟子たちは、主イエス様の受難、十字架の死、復活、昇天を経験して、はじめて神様によって選ばれた者、神の

た。もしかすると、真実は何かを理解できないことに恐れをもち、神様からも隠れたい思いでいっぱいだったかもしれません。その恐れ怯えていた弟子たちの真ん中に、復活した主イエス様が現れ、「あなたがたに平和があるように」といつてご自分の復活した体を見せ、また魚の一切れを食べて見せ、弟子たちのた

すっかり理解し信じる事ができたのは、その後の聖霊降臨によります。そして、さきの特禱の言葉は、コリントの信徒への手紙二の第3章18節にあります。栄光から栄光へと、主と同じ姿に造りかえられるのは、主の霊の働きによると書かれています。弟子たちは、主の霊を受けて、主イエス様とともに歩んだ道を

しつかりと理解し、信じる者にされ、今度は弟子たちが主イエス様の救いへと続く道を人々に示して、人々を導くようになりました。そして、彼らが人々に示していくことができるのは、主イエス様の栄光を悟る光を与えられているからだとも書かれています。

私は、弟子たちが弱く、恐れながらも、主の霊の働きにより、主イエス様の、み跡に従う中で、栄光から栄光へと、主と同じ姿に変えられるように望み、同時にいつも主イエス様の栄光を仰ぎ見る信仰を大切にしてきたことが、今の私たちの信仰に繋がっているのだと思います。大齋節を経て、復活日を迎えた私たちは、私たちのうちにも主イエス様の栄光を悟る光が与えられ、復活の主イエス様を心新たに、して、迎え入れる喜びを味わいたいと願います。

(せんまつ きよみ・西宮聖ペテロ教会 牧師補)

台湾聖公会と共に訪ねた被災地

大阪教区台湾交流委員会委員長 司祭 ペテロ 岩城 聰

3月19日から22日まで、大阪教区の姉妹教区である台湾聖公会（米国聖公会第8管区台湾教区）から、頼榮信夫妻をはじめ13人の兄弟姉妹が来日し、東日本大震災の被災地を巡る『祈りと巡礼の旅』を行いました。頼主教は、米国聖公会の主教会に出席した後、直接北カローライナから日本にこられました。大阪教区からは、大西主教をはじめ台湾交流委員会のメンバー、および被災地での支援に携わってこられた有志が同行しました。

被災地訪問に先だって、3月18日夕刻、大阪聖パウロ教会で歓迎会が開かれ、巡礼の旅参加者をはじめ、これまで台湾聖公会を訪問した経験のある方を中心に30名以上の方が大阪教区から出席され、久しぶりの出会いがあり、賑やかで和やかなひと



ときを持つことができました。台湾からの参加者の中には日本語が堪能な方も数人おられ、日本語の歌も飛び出しました。19日に伊丹空港を出発した一行は、仙台を皮切りに、名取、気仙沼、陸前高田、南三陸、石巻、新地町などをおとずれ、被災者の方の証言を聞き、日本語と中国語で共に祈りを献げました。台湾は震災に際して真っ先に支援の手を差し伸べてくれたところであり、教会としても大きな支援をしてくださいました。姉妹教会でもある台湾聖公会のみなさんと共に祈ることができたのは本当に大きな恵みでした。聖餐式も大西主教の司式、頼主教の説教で行われ、共に聖餐に与ることによって、共に被災地の悲しみと苦しみを担っていくことが確かめられ

ました。日本聖公会の「いっしょに歩こう！プロジェクト」の活動を全体的に学ぶことができただけでなく、台湾側にとつてだけでも大切なことでした。最終日に訪問した「いっしょに歩こう！プロジェクト」の支援センターでは、バイリンガルで礼拝を献げ、聖公会の信徒の被災証言を聞き、近くの「ふじ幼稚園」を訪ねました。一人の聖公会信徒が幼稚園の教員として、あの津波の中で子どもたちの命を守るために奮闘され、自らの命を献げられた現場です。津波の犠牲となった11人の子どもたちを表す風車が哀しさを増しています。しかし、この幼稚園は新しい園舎を与えられ、復活の道を歩んでおられます。

こうして、すべての日程を終えた台湾聖公会の一行は、23日無事帰国されました。頼主教ご夫妻は、3月5日に天に召された前主教の簡啓聰（チェン・チーツォン）主教の追悼礼拝のために一日早く帰国されました。

ペンテコステ ヴィジル 第7回 聖霊降臨日 前夜の礼拝



日時：2013年5月18日(土) 16:30~17:30
礼拝後、交流会を予定しています。

場所：日本福音ルーテル大阪教会
地下鉄谷町線「谷町4丁目」下車1B出口東へ1分
「ホテル・ザ・ルーテル」横

- 説教者 吉岡秀紀 司祭 (カトリック大阪大司教区)
司式団 滝田浩之 牧師 (日本福音ルーテル教会)
松本義宣 牧師 (日本福音ルーテル教会)
内田 望 司祭 (日本聖公会)
井上隆晶 牧師 (日本基督教団)

席上献金があります。「東日本大震災あしなが育英募金」に献げられます。
主催 聖霊降臨日前夜の礼拝実行委員会

日本聖公会大阪教区婦人会 昇天日 礼拝

2013年度 教区婦人会総会

日時：2013年
5月9日(木) 午前10時30分~ 聖餐式

場所：大阪聖ヨハネ教会

説教者：ジョージ 林 正樹 司祭 (大阪聖パウロ教会牧師)

献金先：「東北教区主教座聖堂
(仙台基督教会)」建築のために

昼食後 総会

* 南相馬の「原発事故から命と環境を守る会」のための募金箱を置いていますのでご協力下さい。

* バザー出店教会がありますので、お楽しみください。

第109(臨時)教区会開催

このあと「宣教協議会」開き

京都教区との協働・合併を考える

3月17日(日)午後2時から、主教座聖堂(川口基督教

会)会館において、大阪教区第109(臨時)教区会が開催された。この時期の教区会は、前年度決算を審議し承認するため開かれるもので、ほぼ毎年この時期に定例化している。

大西修主教の開会演説に続き、4つの議案が提出された。第1号議案「2012年度大阪教区決算承認の件」、第2号議案「2012年度大阪教区一般会計不足金処理の件」、第3号議案「三重県三重郡菟

野町の教区所有地(山林)売却承認の件」、第4号議案「宗教法人日本聖公会大阪教区規則一部改正の件」が審議され、決議によりすべて承認された。

その後直ちに、宣教懇談会が始められた。昨年度に報告された当教区と京都教区との協働・合併についての検討が進んでいることから、その状況と今後のスケジュールについて、大西修主教と「大阪教区と京都教区の協働及び合併に関する検討委員会」大阪側委員長の岩城聰司祭より説明があった。これをもとに、ブ

ロックごとに分かれて意見交換を行い、各自が配布されたアンケートへの記入を行った。今後、各教会で主教巡錫時



教区会後の宣教懇談会

に実施するアンケートをもとに、検討委員会で継続して検討し、最終報告を2013年9月に提出する予定。考え得る選択肢として、①現状のまま2教区を維持し、それぞれで教勢維持および宣教の努力を行い、教区間協働を進める。②将来的には合併も視野に入れて、2教区を維持し、協働で運営センターのようなものを設置し、合同で教会運営・宣教を行う。③2教区を合併する。(仮称：近畿教区あるいは関西教区)以上が挙げられた。(編集部)



桜に思う

した。花見客の多いことにも驚きましたが…。

この教区報が届く頃には、造幣局の桜の通り抜けも見ごろを迎えているでしょう。

大阪に来て最初のお花見は、是非一度は行って見たいと長年待望していた吉野の山桜でした。一目千本、とても感動しま

「桜」は日本人にとって古くから日常生活と深い関わりがあり、歌や詩や物語を通してわたしたちの人生観、死生観、歴史観などを作り上げる大きな役割を果たしてきました。誰もが知っている「さくら、さくら、弥生の空は見渡す限り…」をはじめ、「桜花散りかひくもれ 老いらくの

来むといふなる 道まがうがに」(在原業平)、「咲いた花なら 散るのは覚悟 みごと散りましょ 国のため」(軍歌・同期の桜)、「花の色は 移りにけりな いたずらにわが身よにふる ながめせしまに」(小野小町)などと数多く歌われ、自然の美しさを愛でたもの、年を取ることや死への不安、それを回避したい心情を表現したもの、諦めの心境をもって死を受け入れ

る潔さを人格的にとらえて美化したもの、また、はかなく短いこの世の栄耀栄華を表す象徴として、桜はよく用いられてきました。 神の創造の御業である美しい桜花を愛でることは素晴らしいことです。歌の解釈は様々あるでしょうが、キリストを信じ、復活を信じる者にとって、老いや死を後ろ向きにではなく前向きに積極的

に受けとめていくことが大切で す。また誤った歴史観に立って死を美化したり受容したりすることは気がつけたいと思います。小野小町の歌を、与えられたこの世の命には限りがあるので、今この時に出来ることをキリストに支えられて、精一杯やっつけようか? (主教 サムエル大西 修)



大阪教区 90周年を迎えて

1

「教区五十周年史」は「声」

宣教の実践が急務

司祭 ペテロ 松山 龍二

大阪教区成立90周年の年、過ぎし教区50周年史の企画・編集・出版に関わった者として、何か書くようにとのこと。

大阪教区50周年への目標として、小池俊男教区主教は「信徒倍增・宣教活動の強化」「聖職献身の育成」「教会財政の確立」「5教会の増設」の4つを掲げた。さらに記念事業として「記念礼拝」「教区史の編集および出版」「教区センターの建設」「開拓伝道の立案および実施」「信徒教養講座の開設」であった。その成果は大阪教区50年史を参照。

教区史は「声」である。その声が教区の自覚を表している。この自覚を共に分かち合わなければ教区の現在の理解もその将来を達観することはできない。

私たちは過去はどうであったか、その発展途上にあった

成功、失敗の原因は奈辺に

あったかを詳しく知ることによってのみ、現在を指導し、将来の教会の要求に応えらるるのではなからうか。教区史に現れた人物とその活動には意味がある。神の指は常に働きがある。教区史は大いなる啓示に満ちていると信じる。

教区成立90周年の年を迎え、感謝と喜びを共に私たちは進んで新しく積極的な宣教・伝道の道を明らかにして実践が急務である。

第51定期教区会演説で小池主教は（一部要約）「実は教勢の低下は第一に教会も個人も自らの信仰の姿勢ではないか。教会の革新が叫ばれている。果たして革新は成ったか。私は教会という生命が新たに

なるというが如きは手先で模倣替えするようなものではなく、既に知っており、身につ

いている働きの途に力を尽くさねばならない。今はこうした時代であればこそ一層忠実な僕でありたいと思う。信仰を新たにし、祈りに力を得て、愛と希望を持って牧会・伝道に当たりたきものである。信徒の方々も毎日の働きと生活

の中で聖書による慰めと励まし、教会の交わりによる力づけを生き生きと体験されて行かれることを願う。明年は当

教区成立50周年を迎える。その成立は1923年(大正12)、この時代に独立教区を設立するということとは並々ならぬことであり、その時代として決して安易な時代ではなかった。教会にはいつの時代でも安易な時はない。しかし今の時代、我々は殊に様々の問題の困難さを覚える。『わたしは弱い

時にこそ、わたしは強い』と

大阪教区子ども礼拝・教区成立90周年 キッズフェスティバル 2013

～ 教会の誕生日をお祝いしよう～



「平和のきずなで結ばれて、霊による一致を保つように努めなさい。」

(エフェソ 4:3)

キッズフェスティバルは、2013年度から春と夏の2回 行われることになりました。

春キッズ 4月29日(月・祝)

夏キッズ 7月15日(月・祝)

春キッズは、交流を目的とした楽しいプログラムです。

4月29日(月・祝) 10:00~15:00

会場: 川口基督教会

主催: 大阪教区 宣教部生涯学習委員会 (委員長 司祭 アンデレ 磯 晴久)

言ったパウロの言葉をしみじみと味わう。主に従い聖旨を行うためなら様々の困難に向かうことは当然である。しかしその困難、行き詰まりの中に主の力をまざまざと仰ぎ見、主の栄光を拝したい」と述べている。このメッセージは今も生きている。

教区成立90周年の年を迎え、私は「今のわたしたちの姿勢は」「今のわたしたちに求められているものは何か」「これからのわたしたち」ということが、今問われている。

私たちは「福音にふさわし

い生活の確立」「教会教育(共育)の徹底を確立」「社会に対する教会の使命の推進」「宣教・伝道の使命を遂行」など。共に信仰の働き、愛の労苦、希望をもって忍耐し、主に在って生きよう。

主が必ず完成させる日を持ち望み、その労のむなしもとのならないことを主に在って確信しつつ。

(まつやま たつじ・退職司祭、聖ガブリエル教会、大阪聖三一教会、大阪城南キリスト教会協力司祭)

ウイリアムス神学館
特別出張講座

「教会奉仕者の学び」
(第Ⅲ期)

大阪聖パウロ教会で

「旧約聖書」と

「日本キリスト教史」の

学びを終える

司祭 アンデレ 磯 晴久

大阪教区宣教部生涯学習委員会主催で、2012年4月から今年3月（8月と12月は休講）に、大阪聖パウロ教会の協力を得て、「教会奉仕者の学び」の第3期（計10回）が実施されました。開講科目は、旧約聖書入門と日本キリスト教史でした。

旧約聖書入門は、第2土曜日の午後2時から3時30分に開講されました。講師は勝村弘也先生（神戸松蔭女子学院大学教授・ウイリアムス神学館講師）で、旧約の舞台・古代エジプト文明・古代メソポタミア文明・パレスチナの風土などから学びが始まり、旧約の世界の深さ・広さを味わいました。勝村先生の碩学には驚かされました。出席者は26人。



大塚勝司祭（ウイリアムス神学館教授）で、フランシスコ・ザビエルの渡来からはじまり1945年までを、深く楽しく学ぶことができました。受講者は16人。

これで3期3年が修了することになります。2013年度は、月1回ですが4月から第2土曜日に「聖餐式について」を開講します。講師は吉田雅人司祭（ウイリアムス神学館教授・館長）。また出張講座ではありませんが、入門編として、「信徒の学び・神の子イエス・キリストの福音」を第4土曜日に開講します。講師は山野上素充司祭（守口復活教会囑託司祭）。会場は同じく大阪聖パウロ教会です。こうした講座への皆様の積極的な参加を祈念しつつ、報告とさせていただきます。

（いそ はるひさ 教区生涯学習委員長）

2013年度 教会奉仕者のための学び

ウイリアムス神学館出張講座（第Ⅳ期）

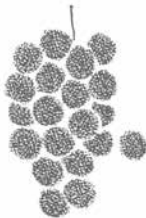
日時：月1回、原則として第2土曜日
午後2：00～3：30
（ただし、8月と12月はお休み）

会場：大阪聖パウロ教会

開講科目：「聖餐式について」

担当教員：吉田雅人 司祭
（ウイリアムス神学館館長）

費用：1年間10,000円



大阪城南キリスト教会で 在日・日韓学習会シリーズ

趙ジョンピル司祭から 韓国の教会を学ぶ

執事 クリストファー 奥村 貴充

2月9日（土）、大阪城南キリスト教会で今年最初の「在日・日韓学習会シリーズ」が開かれ、講師は恵我之莊聖マタイ教会牧師の趙ジョンピル司祭で、テーマが「韓国キリスト教の流れ」でした。この学習会シリーズには約30人の参加者が集まり、熱心に聞き入っていました。

日本のキリスト教の信徒が国民の約1%であるのに対して、隣国の韓国では国民の約3割だといわれています。その成長の根源になったものとして、1907年における韓国教会で起きた侵攻復興運動があります。今回の学習シリーズではこれに主眼を当てて、パソコンを使いながら

この学習会シリーズは今後も5月と9月に開催される予定で、韓国のキリスト教について学んで行く予定にしています。詳細はまたお知らせします。ご関心のある方はぜひご参加ください。

（おくむら たかみつ・在日韓国・朝鮮人宣教協働委員）

大阪教区
婦 人 会

ミス・ブール喫茶奉仕
30年に感謝状を戴く

マーガレット 岡野美智子

2月24日(日)特別養護老人ホーム、ミス・ブールにて「ボランティア感謝会」が行われ、宇野喜句子会長と私が参加させて頂きました。様々なボランティアグループ



ましたもの、皆さまのご協力によるものです。ありがとうございます。うございませ

プがご奉仕される中、大阪教区婦人会が喫茶奉仕を30年も続けている事に対して、施設から感謝状を贈られました。長年、休む事もなく、ご利用者様の楽しみをお支え出来る

にはご報告申し上げます。

会信徒)

信徒奉事者のためのサーバー研修会

聖愛教会で 33人が参加

ルデヤ 西村 宣子

2013年2月23日(土)午後1時30分より、大阪聖愛教会礼拝堂で13教会33名の出席者と共にサーバー研修会が開かれました。内田望司祭のお祈りで始まり次の項目を学びました。

- ①「入堂」「退堂」の所作と歩き方
- ②祈禱書の使い方と唱え方
- ③礼拝中の所作と意味
- ④奉献から陪餐まで

⑤聖器や聖布などについて
今回は、参加者の中に信徒奉事者としてデビューなさる人たちがおられましたので、前記の事柄を、大西修主教・内田望司祭・斎藤みちさん・齋藤琢さんの班に分かれて、きめ細かく実践をしながら教えていただきました。本当にわかりやすかったです。最後に主教練より祝詞をいただき、恵みに満ちた会になり、感謝いたします。

(にしむら すみこ・大阪聖ヨハネ教会信徒)

大屋根修繕募金のお願い

日本聖公会大阪教区 川口基督教会 (主教座聖堂)
主教座聖堂参事会
募 金 趣 意 書

川口基督教会の礼拝堂は、キリストを信じる者が集い祈りを献げる「神の宮」として存在するだけでなく、大阪府の登録有形文化財として大阪市民・府民の大切な財産として位置付けられています。創立以来143年の歴史を持つ川口基督教会は、先達より引き継いできたこの教会を守り、未来に向かって引き継いでいかなければなりません。

昨年4月の大雨の際に顕在化したように、礼拝堂のあちこちで雨漏りが起こっているこ

とはご存じのことと思えます。このまま放置しておきますと雨漏りはあちこちに広がり、木部を腐食させ、レンガ部分を劣化させ、建物自体を危険に曝すこととなります。教会の宝の一つであるパイプオルガンの付近にも雨漏りがあり、パイプオルガンのふいご(羊の皮)に4箇所も雨水によると疑われる穴が発見されました。現在応急措置がなされていますが、抜本的な修理には多額の費用がかかります。

振り返ってみますと、

阪神・淡路大震災における礼拝堂復元工事の際には、資金不足から、屋根の取り替えや屋根の骨組みの大々的な修復は行われておりませんでした。礼拝堂と塔との継ぎ目、会衆席とチャンセルの継ぎ目もきちんとした修理はできていませんでした。

事柄の性質上急を要するため、修繕工事にすでに着手しております。川口基督教会の信徒の献金によって1200万円の資金を確保いたしますが、なお不足する金額について大阪教区の諸教会その他



- ◆総工費 2100万円 (パイプオルガン修復を含めて)
- ◆財源
 - 教会内募金 1200万円
 - 大阪府補助金 600万円
 - その他 300万円

公 示

教主降生2013年3月22日
日本聖公会大阪教区主教
主教 サムエル 大西 修

以下の人事を発令します。

執事	アンデレ	田宮 紘	3月31日付で定年により、退職とする。
司祭	ペテロ	竹林 徑一	3月31日付で桃山学院出向(中高チャプレン)及び大阪聖アンデレ教会牧師の任を解き、4月1日付で大阪聖ヨハネ教会牧師、及び聖ヨハネ学園チャプレンに任命する。
主教	サムエル	大西 修	4月1日付で大阪聖アンデレ教会管理牧師に任命する。
司祭	シモン・ペテロ	上田 憲明 (米国聖公会ハワイ教区在籍)	4月1日付で、ハワイ教区承認の上、桃山学院の要請により同学院(中高)にチャプレンとして1年間、派遣する。また、大阪聖アンデレ教会副牧師に任命する。
司祭	ヨハネ	鍋島 守一	3月31日付で大阪聖ヨハネ教会牧師、及び聖ヨハネ学園チャプレンの任を解き、4月1日付で主教座聖堂付を命ずる。 4月30日付で、願いにより退職を許可する。
司祭	フランシス	趙ジョンピル (宣教協働者/大韓聖公会ソウル教区在籍)	3月31日付で宣教協働者としての契約期間が満了することに先立ち同契約が2年間更新された。それに伴いあらためて、4月1日付で恵我之荘聖マタイ教会牧師に任命する(宣教協働者としての契約期間は2015年3月31日まで)。
司祭	パウロ	井上 進次	2013年3月31日付でプール学院への出向期間が満了するが、同学院の要請を受け、4月1日付で同学院(中高)チャプレンとしてあらためて派遣する(3年間)。
執事	ヨハネ	古澤 秀利	3月31日付でプール学院(中高)チャプレン補の任期が満了するが、同学院の要請を受け、4月1日付で同学院(中高)チャプレン補としてあらためて派遣する(1年間)。
司祭	ジョージ	林 正樹	3月31日付で大阪聖パウロ教会副牧師の任を解き、4月1日付で同教会牧師に任命する。
司祭	ペテロ	岩城 聡	3月31日付で大阪聖パウロ教会管理牧師の任を解き、4月1日付で庄内キリスト教会管理牧師に任命する。
司祭	アンデレ	磯 晴久	3月31日付で庄内キリスト教会管理牧師の任を解く。

2013年4月1日付で以下の人事を発令します。
ただし、日本聖公会法規に基づき、いずれも任期を1年間とします。

司祭	ダニエル	山野上素充	主教サムエル大西修のもと守口復活教会で、司祭アンデレ磯晴久のもと東豊中聖ミカエル教会で、囑託司祭として勤務することを委嘱する。
主教	ヤコブ	宇野 徹	司祭アンデレ磯晴久のもと東豊中聖ミカエル教会で、司祭ヨシユア原田光雄のもと大阪城南キリスト教会及び聖ガブリエル教会で、司祭ペテロ岩城聡のもと庄内キリスト教会で、囑託司祭として主日を中心に勤務することを委嘱する。
司祭	ペテロ	松山 龍二	司祭ヨシユア原田光雄のもと聖ガブリエル教会及び大阪城南キリスト教会で、司祭ペテロ齊藤壹のもと大阪聖三一教会で、囑託司祭として主日を中心に勤務することを委嘱する。
司祭	サムエル	松岡 虔一	主教サムエル大西修のもと富田林聖アグネス教会で、囑託司祭として主日を中心に勤務することを委嘱する。
司祭	サムエル	坪井 克己	司祭ペテロ岩城聡のもと庄内キリスト教会で、主教サムエル大西修のもと高槻聖マリヤ教会で、司祭ペテロ齊藤壹のもと大阪聖三一教会で、囑託司祭として主日を中心に勤務することを委嘱する。
司祭	サムエル	福田 光宏	主教サムエル大西修のもと聖贖主教会で、司祭施洗者ヨハネ山本眞のもと芦屋聖マルコ教会及び西宮聖ペテロ教会で、司祭ペテロ齊藤壹のもと大阪聖愛教会で、囑託司祭として主日を中心に勤務することを委嘱する。
司祭	ヨハネ	奥 康功	司祭フランシス趙ジョンピルのもと恵我之荘聖マタイ教会で、司祭テモテ内田望のもと聖ルンヤ教会及び堺聖テモテ教会で、囑託司祭として主日を中心に勤務することを委嘱する。
司祭	ウィリアムス	竹内 信義	司祭ペテロ齊藤壹のもと大阪聖愛教会で、司祭ペテロ岩城聡のもと川口基督教会で、主教サムエル大西修のもと聖贖主教会で、囑託司祭として主日を中心に勤務することを委嘱する。 プール学院の要請に基づき、主教サムエル大西修のもと同学院(大学)チャプレンとして派遣する。

教 区 の 動 き

常置委員会報告

2月21日(第4回定例)

I. 主教報告

* 東日本大震災2周年に当たり、3月10日の主日に各教会で記念祈禱を捧げる。

* 沖縄教区主教選挙のため、日本聖公会臨時総会が開催される(5月11日、神田基督教会)。

* 沖縄教区管理主教に4月1日付で大西主教が就任。

* 九州教区の教区主教就任式(ルカ武藤謙一主教)は4月6日、福岡聖パウロ教会(主教座聖堂)で行われる。

* 4月1日付で立教学院チャプレン長に五十嵐主教が就任予定。

* 新カンタベリー大主教ジャスティン・ウィルビー主教の就任式は3月21日カンタベリー大聖堂で挙行。

* 小名浜聖テモテ・ボランテイアセンターについて、第II

期終了感謝礼拝が6月4日小名浜聖テモテ教会で行われる。

木村幸夫司祭はあと一年間小名浜に常駐し、主日は第1が郡山、第4は小名浜で勤務の予定。

II. 教務局長報告

* 第109(臨時)教区会の議案についての説明。

III. その他諸報告

* 「生涯学習委員会」の主催で、「信徒の学び」を毎月第4土曜日に大阪聖パウロ教会で開催。

* 「教会奉仕者の学び」では、吉田雅人司祭(ウイリアムス神学館館長)を講師として、聖餐式について学ぶ。第1回目は4月13日。

* 「大阪教区と京都教区の協働及び合併に関する検討委員会」は、ニュースレター以外に、協働及び合併に関する簡単な資料をつくり、教区全教会に配布、主教巡回時にメッセージを願った後、アンケートを

世界の窓

◎国際女性デーに向けて(英国)

UNCSW(女性の地位を守る連合体)の委員会が3月4日から15日まで行われ、英国

教会代表者マンディー・マーシャル氏は、国際女性デーを祝うにあたり、「男性および青少年に対する教育が女性虐待撲滅のための鍵となり、信仰共同体はこの鍵を主導しなければならぬ」と語った。彼女のブログで上記のような虐待撲滅の過程において、文化を一変させる信仰的指導者

取り、結果集約をして、秋の教区会へ上程する最終報告を検討する。

* 東光学園理事会において、3月1日付で佐野信三氏が理事長に就任。

* 聖ルカ教会は、リニューアルし3月3日に礼拝堂の祝別式を行う。

IV. 協議事項

* 趙ジョンピル司祭との宣教協働者契約が3月末で満了するが、二年間更新する。プー

の必要性についても焦点を当てている。また、一生涯の中で4人に1人の女性が虐待を体験し、週に2人の女性がパートナーもしくは前パートナーによって殺害されていることを挙げ、今が行動の時であると締めくくっている。

(Anglican Communion News Service: March 8, 2013)

◎国際女性デー・女性虐待撲滅キャンペーン(ザンビア)

3月8日の国際女性デーにおいて、ザンビア聖公会が「女性虐待撲滅キャンペーン」

ル学院チャプレンの任は解かれる。

* 法制委員会により作成された、「大阪教区事務所職員就業規則」及び同「給与規程」につき検討、一部字句の修正を行い、正本とすることを承認。

* 第109(臨時)教区会に上程する議案につき、①決算報告②一般会計不足金処理③三重県菰野町の教区所有地売却④「大阪教区」規則一部改正、各案件についてそれぞれ確認の上承認。

をたちあげた。ザンビアでは47%の女性が15歳までに性的もしくは肉体的虐待を受けているという報告がある。ザンビアの5つの教区が協力し合い、このキャンペーンの実施に当たる。また、このキャンペーンでは女性虐待撲滅を訴えるだけでなく、女性への教育や就学の支援を通して女性の経済的自立を確立することを目指すという。教会はその活動やカウンセリングのための献金を募る予定である。

(Anglican Communion News Service: March 8, 2013)

* 2013年度教役者、教区事務所職員についての給与額を承認。

* 九州教区主教就任式(4月6日)には岩城聰司祭(常置委員長)が出席。

* 東北教区、東日本大震災記念聖餐式(3月11日、郡山聖ペテロ・聖パウロ教会)に、木村幸夫司祭及び畑野めぐみ氏が出席。

* 聖職試験(司祭・執事、3月5〜8日)の結果を踏まえ、聖職按手式を5月18日に

予定。
 *第109(臨時)教区会後、大阪教区と京都教区の協働・合併について、意見を聴く場を設ける。

3月14日(第5回定例)

I. 主教報告

*宇野徹主教、3月1日より阪大病院に入院加療中、3月16日退院予定。
 *宗像和雄伝道師、3月2日から夙川の笹生病院に入院中。
 *田宮紘執事、3月31日定年退職。

II. その他諸報告

*台湾聖公会「東北巡礼の旅」及びこれに伴う台湾教区・大

阪教区、東北訪問団の行程の紹介説明。

III. 協議事項

*鍋島守一司祭より退職願が提出され、4月30日をもって許可する旨の主教諮問に同意。
 *本年4月よりの人事異動及び教役者の配置、並びに囑託司祭としての勤務委嘱者について、教区主教よりの諮問に同意。4月1日よりの人事異動の主なものは次の通り。
 ◇鍋島守一司祭 主教座聖堂付きに。
 ◇竹林徑一司祭 大阪聖ヨハネ教会牧師に任命。
 ◇上田憲明司祭(ハワイ教区) 桃山学院中高チャプレンとして一年間派遣。管理牧

イサク 宗像 和雄 伝道師が

逝去されました

イサク宗像和雄伝道師が、3月16日(土)午前1時37分、82歳の生涯を終えられました。
 通夜式は3月17日(日)午後7時より、葬送式は3月18日(月)午前10時より、ともに聖贖主教会で執り行われしました。
 魂の平安のため、ご遺族のために、慰め、励ましをお祈りいたします。

師大西修主教のもと大阪聖アンデレ教会副牧師に任命。
 ◇井上進次司祭 プール学院チャプレンとして3期目の派遣。
 ◇竹内信義司祭 プール学院大学チャプレンとして更に一年派遣。
 ◇古澤秀利執事 プール学院チャプレン補として更に一年派遣。
 ◇林正樹司祭 大阪聖パウロ教会牧師に任命。
 ◇岩城聰司祭 庄内キリスト教会管理牧師に任命。
 *川口基督教教会信徒、金山将司氏より、聖職候補生志願書が提出され、面接を行った結果、これを認め教区主教に推荐。

祝受洗

○荻屋聖マルコ教会
 ハンナ 馬場 陽子
 (2月6日)

ペテロ 口丸 岳人
 マグダラのマリヤ 近藤 清香
 (2月8日)

ガブリエラ 阿久根 董
 (3月24日)

祝受按

○大阪聖アンデレ教会
 エステル 貞岡くるみ
 テレサ 貞岡このみ
 (3月17日)

○荻屋聖マルコ教会
 ペテロ 口丸 岳人
 マグダラのマリヤ 近藤 清香
 (3月24日)

ガブリエラ 阿久根 董
 グレイス 桑原弥生子
 (3月24日)

魂の平安を祈ります

○聖ルシヤ教会
 マリヤ 門田 純
 (2月6日・93歳)

○大阪聖パウロ教会
 パウロ 伊東 昭典
 (2月6日・84歳)

アブラハム 浅田 憲治
 (2月8日・101歳)

ペテロ 吉村 忠
 (3月6日・86歳)

○西宮聖ペテロ教会
 マリヤ 新村 律子
 (2月25日・95歳)

○大阪聖愛教会
 マリヤ 中井 愛子
 (3月2日・71歳)

○大阪聖ヨハネ教会
 ルカ 片岡 喬
 (3月6日・83歳)

○荻屋聖マルコ教会
 セシリア 佐治 菊代
 (3月15日・84歳)

教会・施設の動き

西宮聖ペテロ教会
 ○第8回パイプオルガン・コンサート
 6月29日(土)午後2時
 演奏者は上野静江先生(神戸松蔭女子学院大学)
 入場無料

教区関係教役者 逝去者記念聖餐式

◇ 5月8日 (水) 午前 10 時 30 分
於：主教座聖堂 (川口基督教会)
説教者 サムエル 松岡 虔一司祭

司 祭 米村 健治 (1979.5.15)
伝道師 小幡 久能 (1961.5.24)
司 祭 アーネスト・ゴードン・ハッチンソン (1973.5.29 英)
宣教師 メーベル・C・バックス (1984.5.30 英)

◇ 6月12日 (水) 午前 10 時 30 分
於：主教座聖堂 (川口基督教会)
説教者 テモテ 内田 望司祭

司 祭 ロバート・マルコム・ミルマン (1945.6.3 加)
司 祭 オーガスチン 芦澤 光雄 (2002.6.4)
司 祭 チャールズ・フレデリック・ワレン (1899.6.8 英)
司 祭 ウイリアム・ペンジェリー・バンコンブ (1942.6.10 英)
司 祭 ジョージ・テンプシー (1960.6.11 英)
司 祭 ダニエル 植村 信久 (1980.6.13)
司 祭 ステパノ 橋本 節 (1996.6.15)
司 祭 アーウィン・ヘンリー・コレル (1926.6.16 米)
伝道師 マルタ 榎内 晰子 (1946.6.18)
司 祭 ベニヤミン 東 信行 (1943.6.19)
司 祭 牧岡 鉄弥 (1919.6.20)
司 祭 ルイス・パーキンソン・ヒル (1943.6.22 英)
宣教師 エデイス・メアリー・バーナウ (1944.6.29 英)
主 教 横田 道信 (1946.6.29)
宣教師 アリス・マリアン・コックス (1949.6.29 英)
司 祭 ヨハネ 荒木 久雄 (1988.6.30)
司 祭 パウロ 水谷 博彦 (2008.6.30)

*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前 10 時 30 分から、主教座聖堂 (川口基督教会) で行われます。ご関係の有無にかかわらず、どうぞ自由にご参加ください。
* 4月はずすでにお知らせの通り、4月10日(水)です。

聖ヨハネ学園

○3月9日、下田部保育園卒園式、聖ヨハネ学園卒園お祝い会が行われました。4月6日、下田部保育園入園式です。

桃山学院大学

○チャペルコンサートが大学チャペルにおいて開催されますので、お誘い合わせの上ご参加ください。なお、入場料は不要ですが献金を募らせていただきますので、予めご了承ください。
コンサート日程：4月20日

(土) 午後2時開演、演奏者：「ROOTS」天満俊英(ギター)、平野有希(ヴァイオリン)

5月25日(土) 午後2時開演、演奏者「日本オルガニスト協会シリーズ」川崎寿美

恵我之荘聖マタイ教会創立50周年記念特別信仰講座

映画「レ・ミゼラブル」の物語を通して見る信仰

5月22日(水) 午後1時30分
午後3時30分
映画「レ・ミゼラブル」
テーマ/聖霊の導き、摂理

の信仰の傾向性と、その内で働かれる神さまの摂理を趙司祭が分かりやすい話で解説致します。

長いストーリーですが、人物別に編集したハイライト映像を見ながら、登場する人物

講師：趙ジョンピル司祭(聖マタイ教会牧師)
場所：恵我之荘聖マタイ教会
礼拝堂

予 告

大阪教区成立90周年 記念大礼拝・フェスティバル

日時：2013年11月4日 (月・振替休日)
午前10時30分より
場所：プール学院 勝山キャンパス
詳細は後日ご案内いたします。

教区報第428号訂正

※12月23日発行の教区報第428号の訂正を429号でいたしました。訂正間違いでしたので改めて訂正いたします。

10頁・こどもと楽しむコンサート (寄稿者名)

(誤) 執事 クリストファー
奥村 貢光

教区報第429号訂正

※2月17日発行の教区報第429号付録「大阪教区各委員会・担当者等の構成便覧」における間違いを次のように訂正し、お詫びします。

(誤) 大阪教区台湾交流委員会 協力委員
大隈 彩恵子

(正) 大隈 彩恵子

編集後記

大阪教区成立90周年にちなみ1年間、記念特集記事を連載致します。退職教役者に順に執筆をお願いしています。広報委員として活躍された、田宮紘執事と鍋島守一司祭が3月末で退職されました。永年のご奉仕に深く感謝致します。(広報委員一同)